

ITパスポート試験対策講座

講座説明会資料

- ① ITパスポート試験について
- ② ITパスポート試験対策講座について

① ITパスポート試験について

ITパスポートって何ですか？

簡単に言えば、「ITの基礎的な知識がありますよ」という証明書です。

海外を旅する場合に必要なパスポート(身分証明書)に由来したITパスポートという名称には、社会を旅する場合に必要なITスキルの証明書という意味が込められています。

随分とカジュアルな名称の資格試験ですが、これでもれっきとした**国家試験**です。

将来に備えてITスキルを身に付けたい、就職活動でITスキルをアピールしたいという方におすすめの資格試験です。

そもそもITって何ですか？ パソコンとは違うの？

ITは、Information Technology、**情報技術の略**です。

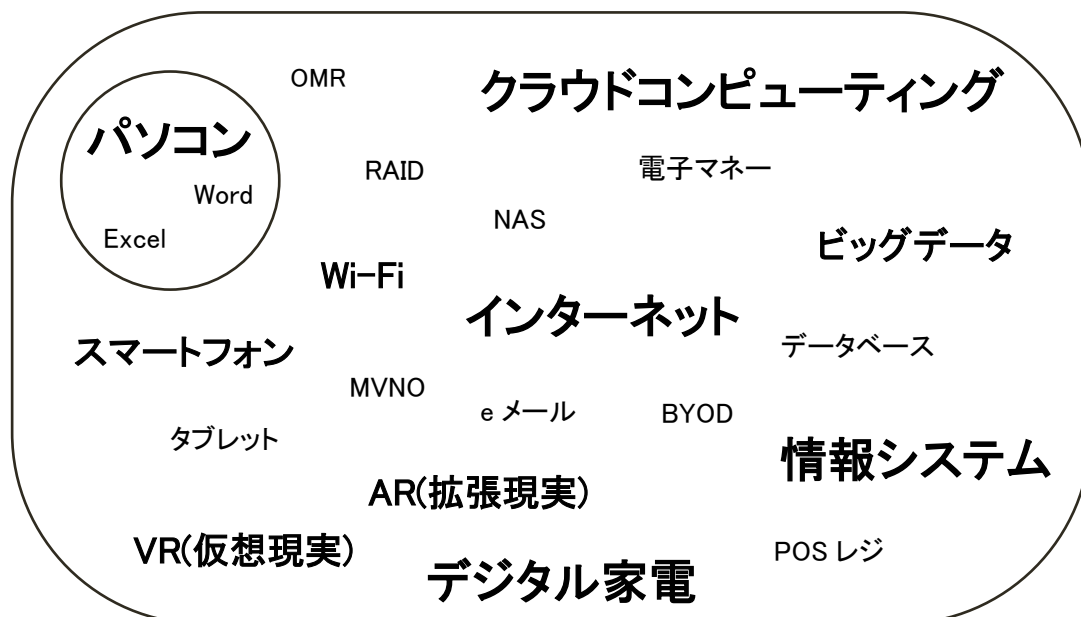
分かりやすく言えば、パソコンやインターネットといった情報処理関連技術の総称です。

つまり、**パソコンはITのほんの一部**に過ぎません。

IT=パソコンと思いたまないようにしてください。

たとえばビジネスの場面でITを活用しようと考えてパソコンだけを連想してしまう人と、下記のような様々なITを連想できる人とは、ITの活用の幅に大きな差が生じるとは思いませんか？

IT関連のキーワード



役立つ資格なのですか？

はい。間違いなく役立つ資格です。

今やITの知識はビジネスのあらゆる場面で必要とされています。そのITの知識を客観的に証明できるITパスポートは、就職活動でも頼もしい味方となるはずです。

また、ITの知識は日常生活においても必要とされています。小難しい話にはなりますが、ITを使いこなせる人と使いこなせない人との間に生じる格差のことを情報格差(デジタルデバイド)といい社会問題になっています。

情報格差そのものを解消することは難しい話ですが、少なくとも自身が不利益を被る側にならないようにするためには、ITの知識を習得しITを身近なものにする必要があります。こういった側面からもITパスポートは役立つ資格と言えるでしょう。

試験は難しいですか？

いいえ、難しくはありません。流石に勉強なしで合格できるほど簡単ではありませんが、しっかりと勉強すれば誰でも合格できるはずです。

たとえば全国平均合格率で資格試験の難易度を考えた場合、合格率が1桁台の資格試験は難関資格とよばれています。また、やや難しい資格試験の合格率は30%弱といったものが多く、簡単な資格試験であれば80%超といったものもあります。

ITパスポート試験の全国平均合格率は50%弱ですが、これらのことから鑑みれば、簡単ではないが、しっかりと勉強すれば誰でも合格できる資格試験と言えるでしょう。

四択形式の試験って本当ですか？

はい、試験問題はすべて四択形式で出題されます。ただし出題数は全100問で、合格基準は1,000点満点中600点以上とされていますので、まぐれで合格できる試験ではありません。

また、試験時間や出題形式などの試験概要を次ページにまとめてありますので、参考にしてください。

試験概要

試験時間	120 分
出題数	100 問
出題形式	四肢択一式
出題分野	ストラテジ系(経営全般):35 問程度 マネジメント系(IT管理):20 問程度 テクノロジー系(IT技術):45 問程度
合格基準	600 点以上(1000 点満点) ※ただし、ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系の 分野別得点がそれぞれの満点の 3 割以上であること
採点方式	IRT(項目応答理論)に基づいて、解答結果から評価点を算出
受験日時	随時(試験会場ごとの試験開催状況による)
受験地	各都道府県の試験会場(試験センターの Web サイトで確認)
受験手数料	5,700 円(消費税込み)

受験日時の随時ってどういう意味ですか？

各試験会場で試験が随時実施されており、受験日が固定されていないという意味です。
つまり、自分で好きな受験日時を選んで受験することができます。

また、仮に一度目の受験で不合格になってしまっても二度目がすぐに受験できますので、
本番に弱いという方にとっては安心できる要素です。

どんな問題が出題されますか？

テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系の 3 分野から様々な問題が出題されます。

問題のタイプとしては、知識を問う問題、論理的思考力を問う問題、
その他計算問題やグラフの読み取り問題などがあります。

過去に出題された問題をいくつか掲載していますので、実際に解いて確認してみましょう。

問1 (IP H24秋 問71:テクノロジー系)

インターネット上にある情報の所在を表す記述方式で、“http://www.ipa.go.jp/”のよ
うな形式をもつものはどれか。

- | | |
|------------|-----------|
| ア HTML | イ IP アドレス |
| ウ MAC アドレス | エ URL |

問2(IP H21春 問85:テクノロジー系)

ファイルを4冊だけ置くことができる机で、A～Fの6冊のファイルを使って仕事をす
る。机上に5冊目のファイルを置きたいとき、机上の4冊のファイルのうち、最後に参
照してから最も時間が経過しているファイルを引き出しにしまうことにする。ファイルが
A, B, C, D, B, A, E, A, B, Fの順で必要になった場合、最後に引き出しにしまうフ
ァイルはどれか。

- ア A イ B ウ D エ E

問3(IP H22秋 問1:ストラテジ系)

電子メールの送信例のうち、受信者への配慮の観点から、最も適切なものはどれか。

- ア 会員から抽出した100名のアドレスを一度にあて先(To)に入れて、会員満足度
調査のアンケートを電子メールで送った。
イ 自社製品を紹介する大容量の資料を、圧縮せずに電子メールに添付して得意
先に送った。
ウ 製品の質問メールへの回答で、その内容を知ってもらいたい複数の顧客のアド
レスをCCに入れて返信した。
エ 特別企画のホームページのURLを特定の限られた顧客に知らせるために、ア
ドレスをBCCに入れて送信した。

問4(IP H21春 問5:ストラテジ系)

情報技術を利用して顧客に関する情報を収集、分析し、長期的視点から顧客と良好
な関係を築いて自社の顧客として囲い込み、収益の拡大を図る手法はどれか。

- ア BSC イ CRM ウ ERP エ PPM

問5(IP H22春 問31:マネジメント系)

Aさんと10日、Bさんと15日かかるプログラム開発の作業がある。これをAさん
とBさんが一緒に作業した場合、何日かかるか。ここで、2人で作業を行った場合もそ
れぞれの作業効率は変わらないものとする。

- ア 5 イ 6
ウ 7.5 エ 12.5

問6(IP H22秋 問75:テクノロジー系)

銀行やクレジットカード会社などを装った偽のWebページを開設し、金融機関や公的
機関などを装った偽の電子メールなどで、利用者を巧みに誘導して、暗証番号やク
レジットカード番号などの個人情報を盗み取る行為を何と呼ぶか。

- ア クラッキング イ バッファオーバーフロー
ウ フィッシング エ ボット

② ITパスポート試験対策講座について

カリキュラムはどうなっていますか？

ITパスポート試験対策講座のカリキュラムは次の通りです。

【基本講義】 14回 4月26日(月)～ 6月17日(木)

基本テキストを使って、試験合格に必要な基礎知識を習得します。
試験に出題されるところを重点的に、講師がわかりやすく解説していきますので、ムダのない学習を行うことができます。

【模擬試験】 1回 6月19日(土)

本番さながらの模擬試験を受験します。
現段階での自身の実力と苦手分野を把握して、直前期の対策に役立てます。
苦手分野を補強することで、効率的かつ効果的に得点力アップが図れます。

【直前対策】 2回 6月21日(月)・24日(木)

過去問題集を使って、総仕上げの問題演習を実施します。
最後まで気を抜かず、しっかりと取り組むことが大切です。
得点力を強化して、合格をより確実なものとしていきましょう。

※詳細なスケジュールはエクステンションプログラムのパンフレットをご参照ください。

どのように学習するのが効果的ですか？

ITパスポートの学習に限ったことではありませんが、「理解→記憶→応用」が学習の基本です。

説明を聞いてしっかりと内容を理解する。理解した内容を繰り返し復習し、記憶として定着させる。記憶が定着したら、問題を解いて知識として応用する。この流れが重要です。

理解が伴わない記憶はとても効率が悪く、理解が伴わない記憶では応用が利きません。

まずはこのことを意識して、学習に取り組んでください。

私でも講義についていけますか？

大丈夫です、安心して下さい。対策講座では、経験豊富な講師が丁寧にわかりやすく講義を行います。それでも分かり難いところがあれば、必ず質問するようにしてください。

講義を休まない、分からないところは質問する、しっかりと復習する、これらをきちんと守って勉強できれば、講義についていけないかもと心配する必要はありません。

仮に講義を欠席してしまった場合も、Web フォローで講義動画が視聴できます。欠席時のフォロー体制も万全です。

だからといって、欠席しても良いということにはなりませんので、体調管理とスケジュール管理はしっかりと行うよう心がけてください。

小テストがあると聞きましたが本当ですか？

はい、本当です。学習テーマの切れ目ごとに小テストを実施する予定です。といっても内容は基礎知識の確認レベルですので、しっかりと復習していれば心配する必要はありません。逆に小テストをモチベーションにして、積極的に学習に取り組むように心がけてください。

試験に合格するためには、直前期の追込みも大切ですが、最初から最後までコツコツ学習することの方がより大切です。後から頑張るから大丈夫と考えずに、各小テストで満点を取ることを目標に学習に取り組んでいきましょう。

最後に

TAC は、皆様の合格を全力でサポートします。

「やる気」があれば、予備知識は必要ありません。

合格を目指して一緒に頑張りましょう！

